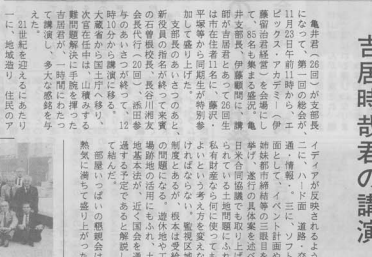


“21世紀の国土造り”

吉居時哉君の講演



秀麗会(15回生)総会

初めの夏休みは4月4日、6月3日、7月4日、藤沢ワタナベ先生の出講で、東京原宿の三軒茶屋まで48名参加して開催した。物故された方々のために、敬語をはずして大喧嘩を繰りかえした。

5月18日にカナダ在住を決定された入米希望のあいさつと話を聞いた。彼、後い道、専ら先生の教訓し、頃からこのことを有意に思っている様子を拝見した。

改めて先生の苦勞をうり、先生方に「先生」に青春を感じました。

夏よい酒と「元」に青春を感じました。

時代に生き方話しを語り、校に生きた方話しを語り、校歌合唱の頃は長年必死に努力しました。先生は、昭和50周年に在るので、杉山昌巳さんを「事に一泊去る」にの案で、お互いの話をし、おつてつりつり（原・真一記）

お願
い

一、募金について

1・ 趣意書と振替用紙を、総ての会報に折り込みました。既にご納入くださった方には失礼とぞんじますが、ご了承ください。

2・ 別紙の寄付者芳名 覧をご参照の上、是非募金に応じてください。

湘南俱樂部

12回同期会総会

$$\begin{pmatrix} 1 \\ 9 \\ 27 \end{pmatrix}$$

21名が魚万会館で

63年11月29日、久しぶりに同期会を開催したが、座席上は開催したいとの意向が強く、それに従い本年も9月28日、昨年に引き続き魚丸大船行つた。全国からの参加者21名、コンパニオンも5名を加え、華やかな思い出となった。

なお今年参加の同期会会話は、毎週第二木曜日、藤沢小田急駅30分「庄助」で午後五時30分に開いている。常時の参加者は12名位。

(世話人 溝延 章)



名簿・会則を整備して
25回同期会（1・9・30）

厚志を本部に寄付

毎年、早稲穂を摘む頃には明治25回創立の
周年に当たり、郷土の代表者として、
（村松）、「山崎」島崎、
「田中」高橋が幹事として、7月
30日(土)は、4時から、藤
沢のランドホテルで行った。
出席する者名は、東京から
青木、豊石、大野、小池、
中野、中谷、和田、松
田の名がかけられた。会
場に入ると、この先生を
先頭に記念撮影。

司会は大井の岩本(巻)
君、善原氏の挨拶の後、
被褥、校章、校友会の近況を
報告すると、また函田と
佐藤に本部に託すに際して、
贈られて、乾杯、懇談が続く。

卒業60年にある老年
定時制生、鈴木氏の舞動
劇、能登、鈴木、安田、田
中、若杉君が推薦され、換
えて解散した。

17回生 氷川丸で同窓会

50年前の関西旅行を偲

[illegible]

38回32組 添田主任を囲んで
26年ぶりに23名が

[illegible]

大和支部総会(1・8・27)

石川公弘君(28回・市議)の講演

[illegible]

実快生(10回)の総会
38名・湘南倶楽部で

牧野の幹事島村・川渡・牧野君が会場に湘南倶楽部を運び、5月22日(正)市より総会を開いた。豊中の原田信君がかけつけ、総務部長の現状報告会後乾杯し、懇談会に移った。

(2年度総会の寄せ書)



斎藤栄君のMH感謝の会

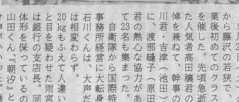
26回生
30名が参会

流行推理作家斎藤栄君(26回

200冊出版を感謝する会を、21日、ホテルオークラで開催。の出版社・業界から贈られた生花輪で飾られたまぼゆいばかりの間で、将棋の大山名人、出版

26
年
ふ
い

9月30日(土)
から藤沢の若狭で、
葉巻初めののクラス
を催した。先頭急会
の人々者高田嶺の
たを兼ねて、幹事の
川君、吉澤(他田
君、渡部崎子(重田
君の熱心な協力が
で30名も集まった
事務所東京へ大田
事川くんは、大田
は相変わらず。
20名も入って入通
と目を疑わせた関係
は銀行の支店長長
体形を保っている
山田くん一瞬の





「赤木先生に見つかると困る、おぼさん！早く早く、上衣のボタンを外して生徒がせつくんです」と、往時を懐しむのが、引地大福屋の名物おぼさん小資政子さん。病身の夫君を扶けて南无繁盛の肝つ玉母さん。息子も孫も湘南卒。戦後暫くして廃業、店跡は駐車場に様変わり。そのおぼさん、昨午名物が又一人へってしまった。

大福屋の名物オバサン

沢先生ごくろうさま会

33年の長い間、母校湘南で美術の授業やクラブをご指導下さった沢先生が、3月末でめでたく退職され、その水年の労をねぎらう会が、4月1日(いかに沢先生らしい日)、藤沢のホテル・オーシャンテラスで催された。

美術部OB・OG部員120余名が集まるという盛況で、上は50歳から下は18歳という全く親子のような年齢、各学年男女の差にもかかわらず、昔話に華が咲くなど、にぎやかな楽しい会であった。記念品として、ヒマラヤ大好きの沢先生に、世界各国の時刻がワンタッチでわかる腕時計と、お似合いの赤いカーディガンが贈られた。司会者佐藤君(41回)と、飯田君(42回)のデュエットで、昔懐かしいビートルズ・ナンバーが演奏され、OG達による先生の嗣上もあり、最後は名テノールの土井君(42回)のエルでみごとに締められ、先生も大変喜ばれ、大いに乗った会った会であった。2次会は湘南クラブ、これも50名が出席、カラオケも入って、ふだんは減多に外出できない奥様OG達も、今日ばかりはと、羽目を外した模様。その後3次会、4次会へと皆、再会を約して散会。相変わらず昔のまま少年のような気持の若い沢先生、本当にご苦労さまでした。いつ迄もお元気で。

美術部OB・OGが120名



湘南紳士録(28)

齋藤 隆利(27回)



荒 間 蒼 海

山翠海石榴のこだわり社長